令和８年度８月定例教育委員会議事録

【日時】
令和８年８月 24 日（月）
開会　午後１時 30 分
閉会　午後４時 00 分

【会場】
辰野町民会館 104 学習室

【出席者】
10 名
（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤　和德
教育長代理	飯澤　隆
教育委員	垣内　由佳
教育委員	関　　政彦
教育委員	萩原　多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	菅沼　隆之
学校支援課長	竹村　智博
学校支援課長補佐	赤羽　徳幸
教育総務係	中沢　大輔
社会教育係	荻野　奈実

【傍聴者】
０名

【次第】

1　議事

2　協議

（1）【非公開】夏休みの反省及び学校の様子・運営上の諸課題

（2）町内小・中学校２学期の方向（８月の校長会から）

（3）全国学力学習状況調査結果（速報）

（4）町教育委員会研修視察について

（5）小中学校あり方検討委員会提言に関わる児童生徒アンケート結果

（6）夏休み中の学校関係工事の進捗状況（含：避難袋訓練・昇降機デモ）

（7）その他

3　報告事項

（1）その他

○開会

１　開会宣言

２　会期の決定

・会期については１日とする。全員異議なし。

３　議事録の承認

・承認。

４　宮澤教育長挨拶

こんにちは。町内小学校はすでに 20 日先週木曜日に始業式を迎え、辰野中学校は今日が２学期の始業式、いよいよ 12 月までの長い２学期が始まりました。気持ちが外に向いていた１学期と異なり、２学期は内を充実させる学期です。

今朝は、元気に学校に向かう東小の児童と辰中生を多く見ました。いつも以上に多くの小学生の姿でした。小学生は先週から登校していましたので、通常の登校風景ですが、小走りで学校に向かう子が多く、この子たちにとって今日は何か学校で楽しいことが待っているのかな、この子たちはきっと、東小が「楽しい学校」になっているんだなと思いました。

昨日は二十四節気の処暑、暑さも峠を超え、朝晩は涼しくなってきて、夜の虫の音も美しく聞こえるようになるというわけですが、確かに朝晩は涼しくなり、日によっては肌寒ささえ感じるようになりました。一方、今週から来週にかけては、まだまだ厳しい残暑 30℃越えが続くようです。

先週木曜日 20 日から、町教育委員会と町公民館が、広く町民対象のクマについての研修を始めました。第１回目は、東小を会場に開催しましたが、東山はクマがいないという思いが広く住民に定着していたためか、参加者は 10 名ほどでしたが、講師の瀧井先生はきっぱり、東山にもクマはいます。ただ西山と比較すれば頭数が少なく、人と遭遇してこなかっただけだと言われました。いるときっぱり。クマの生態を大変わかりやすく話され、ニュースなどで紹介されていた東北のクマと長野県内のクマは、全く違うクマであること、基本的にはクマは人を恐れる存在、ただ一度、トウモロコシや他の食べ物エサを知ったクマは、執拗にエサを求めるようになったり、人の生活圏に入り込んだりするようになり、確保とか駆除しか対応策はない、と言います。親子のはく製やフン、頭骨などの標本も多く持参され、大変わかりやすい話であり、科学的根拠に基づいた話に、私もつい聞き入ってしまいました。今日は、両小野小学校、明日 25 日は旧川島小学校、27 日は南小、31 日は西小学校でそれぞれ開催されますので、教育委員の皆さんも、都合が付きましたら是非、どこかに出席してみてください。

日本版DBSこども性暴力防止法が、今年12月25日から施行されることに伴って、辰野町では先週、17日と21日の２日間、計４回の研修を開催、小中学校や保育園の先生方や役場職員が多く参加されました。

この法律は、学校や保育園、学童クラブなど、子供と関わる業務に従事する職員は、正規や会計年度、職種、勤務日数や勤務時間等に関係なく総て、この研修と定期的な性犯罪の履歴確認が必須となるもので、この研修もその一環として実施したものです。県内ではまだ辰野町以外実施した自治体はないということです。今後この法律に基づいた整備が必要となります。

さて、今日の定例教育委員会では、議事はなく、協議として、夏休みの反省や学校の様子や運営上の諸課題、小中学校の２学期の教育課程、全国学力学習状況調査の結果から、また小中学校あり方検討委員会提言に関わる児童生徒アンケートの結果からなどです。

それではよろしくお願いします。

５　議事

なし

６　協議

（１）【非公開】夏休みの反省及び学校の様子・運営上の諸課題

・宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」、「８月校長会資料」を提示。

（２）町内小・中学校２学期の方向（８月の町校長会から）

・宮澤教育長より説明。

・資料として「令和８年度　２学期教育課程等の方向」を提示。

【辰野西小】

① 子供たちの意識を大切にした、子供と共に作る活動の推進

② 「自主的な授業改善のさらなる推進」

③ スタートプログラム作成につながる保育園での研修

④ 40分授業についてねらいの明確化と職員間での共有、準備

⑤ 個に寄り添ったチーム支援の充実

⑥ 意識向上のための研修と職員の願いを取り入れた研修の実施

⑦ 校長と職員、職員同士の対話量の増加

【辰野東小】

① 子供が伸び伸び思いを表出できる場面づくり
② ゴールを目指す過程における学ぶ喜びを感じられるスモールステップ
③ 特別支援学級の支援体制を整え、円滑な指導・支援につなげると共に、職員関係の再構築を図る。
④ 上伊那教育研究会Ⅲに向け、研修を積みながら指導観の変遷につなげる。
⑤ 楽しい学校に向けて…子供たちに前期のまとめと後期のスタートを意識させる。教科固有の視点で日常を捉え直す。来年度の教育課過程編成について先生方にアイディアを出してもらう。

【辰野南小】
① 「わくわく」の充実を図る…「やってみたい」の実現。特別支援教育的視点を大切にする。授業観、子供観を磨き上げる。
② 子供と共に作る授業。
③ 来年度 50 周年、つなぐ、広める。

【辰野中】
① 「地域とつながる」「地域に出る」「地域と交流」の実践。
② 引継ぎの時…３年生は文化祭を中心に満足いく締めくくりをし、１、２年生に引き継ぐ。
③ 制服の検討。
④ ２学期スタートに当たり全教職員と確認する…職員の意図が生徒や保護者側に十分理解されていたのか。
⑤ １学期学校運営上の課題への対応。

（３）全国学力学習状況調査結果（速報）
・宮澤教育長より説明。
資料として「令和８年度全国学力学習状況調査の結果より」を提示。
・小学校の国語、算数は平均値よりやや下の子供達をもう１段階上げ、低位生の基礎の確認を。
・中学校の国語は平均値よりやや下の生徒を１段階上げる工夫を。数学は小学校、中学１年生の基礎の再点検を。英語は得意、好きがやや低い。下位が重く、平均値よりやや上を増やしたい。

（４）町教育委員会研修視察について
・宮澤教育長より説明。
・町内教職員の希望を募り９月 11 日に住吉小学校に見学に行く。町教育委員会研

修視察についてはこちらの見学が終わり次第検討する。

（５）小中学校あり方検討委員会提言に関わる児童生徒アンケート結果

・赤羽学校支援課長補佐より説明。

・資料として「辰野町立小・中学校あり方に関するアンケートまとめ」を提示。

・小学１～２年生はわかりやすい質問に答えてもらい、３年生以上にクラスや友達の人数の減少に関してなど、小中学校のあり方に直接かかわる質問を回答してもらった。

・４年生～中学生まではタブレットでの回答を行い、ＡＩで集計した。

〇学校で楽しいと感じる時はどんな時ですか？（全学年）

・どの学年も「友だちと遊ぶ・話す」「授業が理解できた」時との回答が多い。

〇今よりももっと楽しい学校になるにはどうなればいいと思いますか？（３年生～中学生）

・「悪口を言わない・仲間はずれにしない」「静かに授業を聞く」などの回答は全学年に共通してみられた。中学生からは、「個人のレベルやペースに合わせたコース別学習の導入」を希望する声も上がった。

〇たくさんの友だちといっしょに勉強したり遊んだりすることは好きですか？（３年生～６年生）

・全体的に「好き・大好き」との回答が多いが、学年が上がるにつれて状況に応じて一人の時間を大切にする傾向がみられる。

〇クラスの人数が減り、野球やサッカーをチームを組んで行ったり、合唱や合奏を大勢の友だちと行ったりすることが難しくなってしまいます。このことはあなたにとって楽しい学校と言えますか？（３年生～中学生）

・「楽しいと思わない」の割合が多いが、学年が上がるにつれて「どちらともいえない」や工夫次第では「楽しいと思う」と答える割合が変化している。

〇個人で学んだり、グループで学習したり、クラス全体で学習したり、いろんな形態がとれるように考えていますが、このことをどう思いますか？（中学生）

・全学年の 80％ほどが肯定的な一方、「グループになると騒いでしまう人がいる」「人見知りの班は進まない」などの課題も挙げられた。

〇教室に様々な考えや価値観を持った友だちがたくさんいて、励ましあったり競い合ったりしながら学んだり生活したりすることについてどう思いますか？（中学生）

・80％ほどが肯定的。３年生に関しては 90％近くが肯定的だった。「将来のための経験になる」「モチベーションが上がる」などの意見の一方、「一人の時

間も大切にしたい」などの配慮を求める声もあった。

〇小学校でクラス替えをした人にお聞きします。（中学生）

・「クラス替えがあってよかった」との意見が過半数を占めているが、中には「馴染むのにストレスを感じた」との声もあった。

〇小学校でクラス替えを経験しなかった人にお聞きします。中学にあがりクラス分けが行われ環境が変わったことについてどう思いますか？（中学生）

・１、２年生は「友だちが増えてよかった」が７割を超えているのに対し、３年生は５割程度。全体的に見ても、「大人数に馴染みにくい」との声も一定数存在している。

＜宮澤教育長＞

中学生の回答を見ると、先ほどの学習状況調査結果に通じるものがあると感じます。学校が楽しいということには勉強がわかるということが関わってくる。

＜竹村学校支援課長＞

やはり勉強が分かるということが重要。友だちの数も、クラス替えがあってでも多いほうが良いと感じていることがわかります。

＜Ａ委員＞

学習のことに関しては子供たちが一番よくわかっている。それぞれの学年でそれぞれやって欲しい要望があるので、実現していってほしい。

（６）夏休み中の学校関係工事の進捗状況

・赤羽学校支援課長補佐より説明。

・辰野中学校のスロープ工事、給食室のエアコン設置。今月中には竣工予定。

（７）その他

＜Ｂ委員＞

熊本の地震を受けて、旧川島小学校の閉校記念碑を含めた銅像などの管理について検討していただきたい。校舎入り口の松の管理もどのようにしていくのか。

＜竹村学校支援課長＞

旧川島小の植栽に関してはシルバー人材センターにお願いする方向で検討

している。大きくなった桜の木などは、電線にかかっているようなものは中部電気保安協会にお願いすることを考えている。その他については、来年度以降予算をとり大きく進めていきたいところ。遊具については今年度中に点検を行う予定。

・菅沼学びの支援課長より辰野町人権啓発講演会、満蒙開拓団講演会について説明。

辰野町人権啓発講演会は、「フィンランドからのヒント」と題し、講師に堀内都喜子さんを招き講演を行う。

満蒙開拓団講演会は、阿智村の満蒙開拓記念館より講師を招き講演を行う。

・竹村学校支援課長よりこども性暴力禁止法施行について説明。

こども性暴力禁止法施行について、事前の準備として「不適切な行為」の線引きを職場ごとに検討し公表していく必要がある。犯罪歴の確認、不適切な行為が発生した場合にどのような対応をしていくのか、今後教育委員の皆さんに意見をお願いする場面が出てくる。

7　報告事項

（1）その他

なし

8　閉会